



品質管理パッケージソフト「トレパス」 のご紹介

2010年9月17日

東京システムハウス株式会社
TOREPASプロジェクト

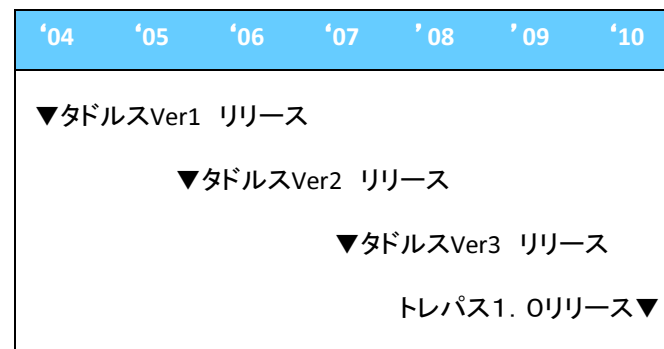
目次

- **品質管理システムとは**
 - **品質管理システムの概要**
 - **システム化の背景**
 - **食品メーカー各部門が抱える課題点**
 - **品質保証部門**
 - **商品開発部門**
 - **営業部門**
 - **システムの目的**
- **生産管理と品質管理の活用事例 紹介**
 - **データ入力の効率化**
 - **検索方法の多様化**

TSH 東京システムハウス株式会社 ご紹介

商号	東京システムハウス株式会社(略称:TSH)
設立	1976年11月
資本金	1億7,990万円(払込資本)
売上高	26.2億円(2009年10月期)
従業員数	176名(2009年10月現在)
本社所在地	東京都品川区西五反田
営業所	神戸
認証資格	Pマーク、ISO9001、ISO14001
業務内容	コンピュータ利用に関する総合サービス
特色	<ul style="list-style-type: none"> ・設立以来一貫した独立系 ・徹底したエンドユーザー指向 ・特徴のある独自の製品とサービス
URL	http://www.tsh-world.co.jp

タドルス・トレパスのリリースの経緯



品質管理システムとは

1. 品質管理システムの概要
2. システム化の検討背景
3. 食品メーカー各部門が抱える問題点
4. 品質管理システムの目的

品質管理システムとは

- 食品の原料、包材、規格、栄養成分など、食品に関する総合的なデータベースを管理するためのシステム

品質管理システムの主な機能

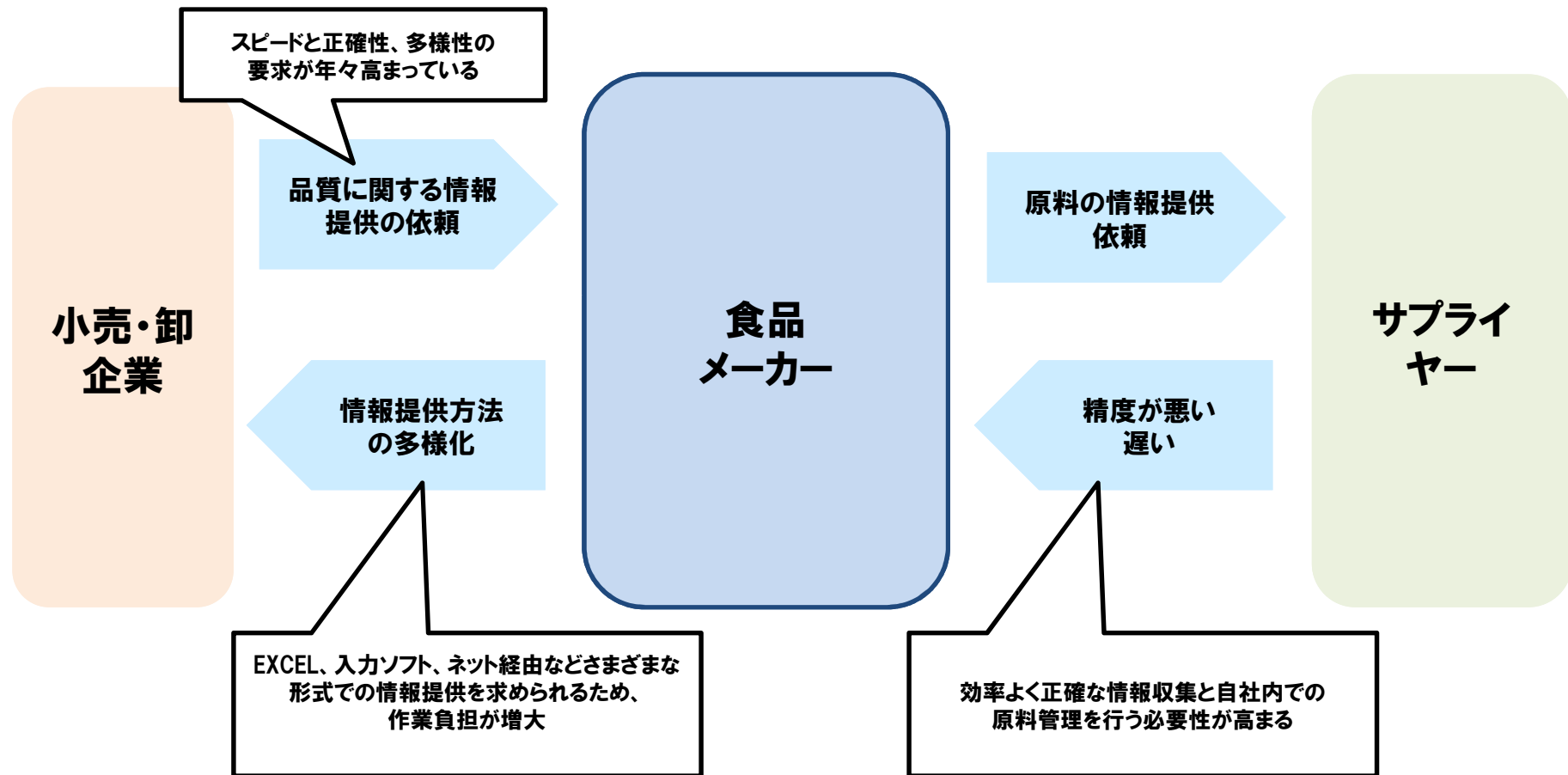
1	規格書データベース管理	商品規格書、原料規格書、包材、配合データなどの管理、承認機能など
2	データ入力	EXCELから取込によるデータベース化(原料規格書、商品規格書など) サプライヤーへの入力ソフト配布によるデータ収集
3	データアウトプット	小売・卸企業採用システム、WEB規格書サービスへのデータ送信 商品情報の外部ファイルへの出力(商品規格書EXCELやPDFなど)
4	データ活用	原料の産地やアレルギー情報からの商品データの検索 原料一括表示の作成、法規チェック、ラベルプリンタ発行 原料からの積み上げ計算による食品の栄養成分の自動計算 社内システム(生産管理システムなど)との相互連携

タドルス・トレパス以外の他社ソフトなどの情報も含まれます

主に規格書をメインとしたデータ管理をもとに業務効率化を図るための機能

品質管理システム検討の背景

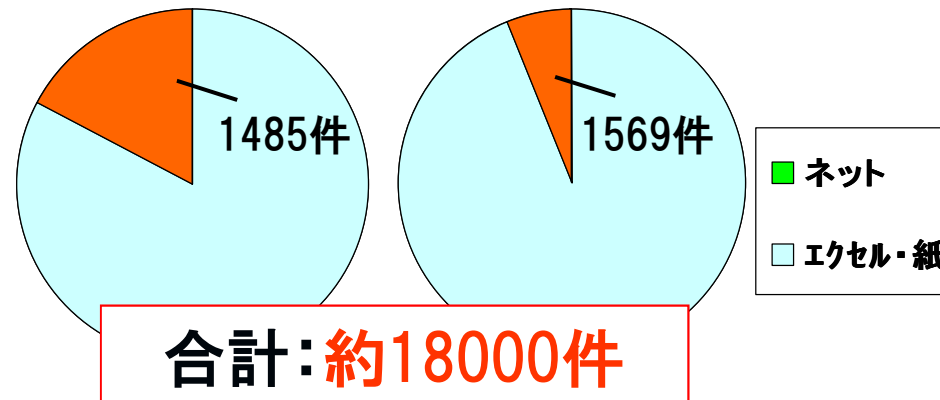
小売企業から求められる情報のスピード・正確性が高まり、食品メーカーにおいても原料情報の収集や情報提供におけるスピード・正確性が必要になっている



品質管理システム検討の背景

大手メーカーA社仕様書提出状況

家庭用：4403件 業務用：13737件



1. 得意先様のオリジナル仕様書の依頼 **約1300種類**
2. 年々記入項目が増加
(例：原料原産地情報、農産品の肥培管理、農薬検査状況)
3. 安全等の証明書提出の増加
(例：原料の安全証明、商品の安全証明、細菌試験結果)
4. 作業増加による経費の拡大

各部門が抱える課題点

品質保証部

1. 原料メーカーから回収している原料情報（原料規格書）の整理

- 紙管理のため、目的のものがすぐに取り出せない
- 最新の情報が古い情報かわからない
- 担当レベルで情報を持っており（メール、紙など）、担当者がいないとわからない

2. 得意先から要求される商品情報提出に時間がかかる

- **さまざまな仕様書の書式の存在**
 - GCIジャパンによる品質系情報の標準化の取り組みなどもある
- **得意先のIT化により、提出作業が複雑化**
 - マクロ付EXCEL
 - 「eBASEjr.」へのデータ入力
 - 得意先の独自システム（WEB、など）への直接入力
- **最新の商品情報がどの情報なのかわからない**

各部門が抱える課題点

商品開発部

1. 試作品情報の管理方法が確立されていない

- 社内システムで製品の原料配合などは管理されているが、試作品情報は個人ごとの情報管理

2. 開発部の中での情報共有ができていない

- 原料情報を各担当別に管理している
 - 各担当者ごとにEXCELなどでデータを持っている

3. 原料表示をEXCELで作成しているため、煩雑

- EXCELを使って原料表示を作成しているため、EXCELの式のずれなどでミスが起きやすい

各部門が抱える課題点

営業部

1. 各営業が商品に関する情報(クレーム・品質情報)を正しく把握できていない
2. 営業マンの提案力や提案資料などのレベルが統一できていない

品質管理システムに求められる機能

① 外部への情報提供のスピード、正確性の向上

- 小売、卸企業から要求される食品の品質に関する情報提供を早く、正確に行うことができる

② 商品・原料に関する正確な情報収集と情報共有

- 得意先へ情報提供を行うための情報収集をスムーズに行う
- 商品、原料の仕様書レベルの詳細情報を共有化することにより、社内資料の作成や問合せに対するレスポンスアップにつながる
- 外部、社内からの問い合わせ対応に対して属人化しない

③ 業務効率化によるコスト削減

- 外部へ提出する規格書の作成や、原料一括表示の作成など時間のかかる作業を効率的に行うことができる

④ 社内管理システムとの相互利用

- 生産管理システムや営業案件、クレームデータベースとの相互利用により各システムの付加価値を高める
 - 生産管理システムとのデータ連携によるデータ二重入力の防止
 - 営業案件データベースとの連携による商品提案力向上
 - クレームデータベースとの連携による問い合わせ対応の品質向上

生産管理・品質管理システム 活用事例

1. データ連携における運用事例
2. 生産管理・品質管理システムの連携時の検索事例

活用事例：生産管理システムとの連携

品質管理 → 生産管理 の配合データ連携

品質管理システム側 運用方法

1. サプライヤーからの原料規格書の収集
2. 配合(レシピ)情報の登録
3. 生産管理システム連携用のEXCELアウトプット

生産管理システム側 運用方法

1. EXCELファイルのデータ取り込み
2. 配合データの登録



EXCEL上で生産管理システムに必要なデータ(ロットなど)の追加

配合データ連携
による効果

データ入力の
運用効率化

・コードの一元管理

異なるシステム運用でコードの2重管理を防ぐため、
新規データ登録は品質管理システムで行う

・同一データの2重入力の削減

生産管理・品質管理のシステム双方で商品・原料・配合(原料構成)の情報を
管理しているため、データを連携することで同じ情報を2つのシステムに
二重入力する必要がなくなる

活用事例：生産管理システムとの連携

品質管理・生産管理システム連携時の検索 運用方法

品質管理システム側 検索方法

原料規格書、商品規格書を考慮した詳細なレベルの情報検索

- 例)
1. 特定の産地の原料が含まれる商品の検索
 2. アレルゲンが含まれる商品の検索
 3. ○×産の原料が含まれる商品の検索

生産管理システム側 検索方法

ロットを含めたトレーサビリティを考慮した検索

- 例)
1. 品質管理システムで検索された商品の在庫状況
 2. 商品の製造予定の検索
 3. 商品の出荷状況の検索

検索連携
による効果

品質情報を含めたトレーサビリティ

規格書の詳細情報を含めたより詳細な情報の検索を行うことができます

TSHソリューションのご紹介

- 品質情報管理システム「トレパス」をベースとした食品製造業様向けソリューションを展開

品質管理部門向け

- 原料規格書管理
- 商品規格書 作成業務

生産部・購買部

- 原料表示 ラベラー連携ソリューション
- 生産管理・品質管理 連携ソリューション

商品開発部門向け

- 配合・レシピ管理
- 原料表示 作成業務

営業部門

- クレーム管理・規格書情報 連携システム

「成分タドルス」「トレパス」での**60**社以上の導入ユーザーへの
規格書ソリューションをベースに様々なニーズにお応えさせていただきます

ご静聴ありがとうございました

食品企業の規格書をベースとしたトータルソリューション

TOREPAS

お問合せ先	東京システムハウス株式会社
	TOREPASプロジェクト
TEL	03-5436-3341
FAX	03-3493-3550
MAIL	torepas@tsh-world.co.jp